

# アイリス Letter



2019年11月29日発行  
第7号  
広島女学院中学高等学校

## 保護者の皆様へ

### 聖書のことば

そればかりでなく、苦難をも誇りとします。私たちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

ローマの信徒への手紙 5章3節4節

11月も終わりを迎え、学校には讚美歌コンクールの練習の音が響いています。この月もたくさんの学びのとき、出会いのときがありました。

11月3日には、文化祭がありました。雨の降る時間もありましたが、多くのお客様が来てくださり、生徒たちも納得のできる一日となったと思います。保護者のみなさまには、たくさんのご協力とご支援をいただき、ありがとうございました。

翌週は、キリスト教強調週間でした。12日の特別プログラムの講師は、立野泰博牧師でした。講師の先生と共に、中村純（あつし）氏、平田玉代氏、三輪真理氏の3人の方々が演奏をしてくださいました。詳しくは、今年度のテキスト「いのち 寄りそい 希望」にありますので、ご家庭でもこのテキストを見ていただきながら、このときの話をしていただきたいと思います。テキストの色は、オリーブ色です。立野先生は、パレスチナ子ども難民支援に従事されておられます。また、2011年3月の東日本大震災の震災救援リーダーとして派遣され、救援活動にあたられている方です。中村氏は、パレスチナの入植で倒されたオリーブの木と東松島の海岸で津波に倒された松の木で造られたパンの笛（パンフルート）で演奏をしていただきました。パレスチナの子どもたちの置かれている環境は、日頃私たちが与えられている情報では計り知れないものでした。戦うことより平和をつくりだすことの方が難しい、しかし、その歩みを進めるパレスチナの子どもたちがヒロシマを希望として見ていることを知りました。また、東日本大震災における悲しみは想像を超えるものでした。立野先生が被災者に何もできない、ただ寄りそうことしかできないときに、「あんたらキリストさんしょってるからな」と言われたそうです。そのやりとりの中にイエス・キリストの真理、神様が働かれるということを感じさせていただきました。

24日には、ローマ法王フランシスコが広島を訪れました。本校からも7名の高校生が平和記念公園で「平和のための集い」に参列し、直接メッセージを聞く機会に恵まれました。その演説の一部をご紹介します。「記憶し、共に歩み、守ること。この三つは倫理的命令です。これらはまさにここ広島において、より一層強く、普遍的な意味を持ちます。この三つには平和となる真の道を切り開く力があります。（中国新聞より）」

（校長）

## 2019年度 文化祭

今年の文化祭のテーマは「今進」でした。今を進む「今進」と想像力豊かな“imagine”の二つの意味が込められていました。日々の生活の中で築き上げてきたつながりをもとに、団結しつつ個々の色鮮やかな個性が輝く文化祭となりました。

礼拝をともにし、吹奏楽部によるファンファーレで幕開けした文化祭は、クラブ、委員会、HRいずれの発表も新たな文化の香りが感じられました。ホールでは日々の練習の成果を、体育館では白熱した試合や華麗な演技、グラウンドでは試合や高校運動部による模擬店、校舎内ではたくさんの素晴らしい作品など、日常とは違う生徒の皆さんの様々な表情が見られました。また PTA のみなさま、同窓会の方々、お父さんの会のみなさまにも文化祭を盛り上げていただきました。この場をかりて心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



(中高生徒会顧問)

## PTA バザー報告

PTA バザー開催にあたり、保護者のみなさまにはバザー品のご提供、会場設営、当日の売り場お手伝い、安全確保のための校内パトロール、会場片付けなど、多くのご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

今年度はPTA 役員の負担軽減を目指し、バザーの内容を大きく変更しました。その中で、役員同士知恵を出し合い、ご来場くださる方々、生徒のみなさん、学校関係者のみなさまに喜んでいただけるよう心を込めて準備をしてまいりました。PTA バザーがみなさまの楽しい思い出の一頁となれば幸いです。

渡辺校長先生をはじめ、教職員のみなさま

方には、多大なるお力添えをいただき、今年度の新たな試みを支えてくださいましたこと、PTA 役員一同、心よりお礼申し上げます。



(PTA バザー担当副会長)

## キリスト教強調週間 (11/11～16)

主題「いのち・寄りそい・希望～苦難の現場に身を置く～」、主題聖句「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む」（ローマの信徒への手紙5章3～4節）のもと、12日は通常の授業に替えて、主題講演と学年ごとの特別プログラムが実施されました。

主題講演講師の立野泰博先生(日本福音ルーテル教会牧師)は、パレスチナの子ども難民支援に長く関わり、東日本大震災直後から宮城県の石巻河北・北上地区を中心に救援活動にあたられました。

講演では、「もし自分だったらと想像してほしい」と、立野先生がパレスチナで出会った



子どもたちや現地の写真が映し出されました。分離壁の中に閉じ込められて、仕事や学校に通うにも、病院に行くにも検問で何時間も待たされ、何の理由もなく、日々家が破壊され、家族や自分の命が危険にさらされる。そんな状況の中で生きる子どもたちが、また、東日本大震災で多くの大切なものを失った人々が「破壊され、苦しみの中から復興したヒロシマが“希望”だ」と語るそうです。大

川小学校で、子どもを失った親御さんや家族の痛いほどの愛に、多くの生徒が涙を流していました。「痛みや苦しみのただ中で、人と人が寄り添う時、そこに希望が生まれる。」それが、先生が二つの苦難の現場での体験をもとに伝えて下さったメッセージでした。講演中の、パレスチナの切り倒されたオリーブの木と松島の松の木で作られたパンフルート（中村純氏）・ピアノ（三輪真理氏）・歌（平田玉代氏）も心に沁みるものでした。

学年別活動では、「隣人と共に生きる」ことについて、社会のさまざまな分野の講師の先生との出会いや具体的な実践活動を通して考える時間を持ちました。



中学礼拝委員会では、月・水・木・金の4日間、昼休みに『僕はイエス様が嫌い』という映画を上映しました。キリスト教学校に転校してきて、初めての礼拝やお祈りに戸惑う少年ユラの前に、小さなイエス様が現れます。願い事がかなうたびイエス様を信じるようになるのですが、やがて大きな試練が降りかかります。願いをかなえてくれないイエス様を信じて意味がないのか？この映画を作った奥山監督は、自分自身のキリスト教学校での体験をもとにその答えを暗示する讃美歌で映画は終わります。映画の中でオルガン

を弾いているのは、監督の同級生だった女学院の湊院長先生のお孫さんです。第1AVには毎日たくさんの生徒が集まりました。

高校宗教委員会では、恒例の昼の集いの他、11日（月）放課後に「被爆バイオリンコンサート」を開催しました。大学の資料館に保管・展示されているパルチコフ先生（ロシア人）の被爆バイオリンを、ロシア出身のエカテリ

ーナ・シマキナさんに弾いてもらうという趣旨の企画です。1学期から準備してきたこのコンサートは、広島市と姉妹都市であるボルゴグラード（旧スターリングラード）について学ぶ機会にもなりました。

水曜日と木曜日はドラマ『コードブルー』を鑑賞し、救命の現場の厳しさと命の尊さに触れました。主題講演の内容と合致した良い企画でした。最終日の金曜日は金信先生の絵本の読み聞かせでした。心和む一時を持つことができました。

17日（土）の閉会礼拝では、各学年の生徒代表が感想を発表し、それぞれが得たものを分かち合いました。詳細は学院報や年度末発行の冊子『ガリラヤの風』にてご報告します。

（宗教教育委員会）



## 保護者対象進路講演会

11月9日（土）にゲーンズホールにて、駿台教育研究所石原賢一先生の講演会を行いました。休日にも関わらず200名以上の方の参加をいただきました。11月からの報道などにもあります大学入試の混乱やその本質的な内容を含めた新しい大学入試の情報ははじめ、2040年の先を見越した教育・入試についてなどに関する内容でした。参加されなかった方も、11月9日のさくら連絡網で当日の資料を送っていますので、ぜひ参考にいただければと思います。教育に関する雑誌取材やテレビ出演で多忙の中、石原先生をお招きできた機会に感謝するとともに、今回の講演会はPTAの協力を得て、実現することができました。重ねて御礼申し上げます。

（進路指導部長）



## 保健室だより (7)

朝夕寒くなってまいりました。

広島市のインフルエンザ流行状況は、第45週(11月4日から11月10日現在)59人(定点1.59人 A型58人、B型1人)と流行期に入ったそうです。流行期になりますとインフルエンザにかかりやすくなるそうです。予防には、日頃から、栄養をとる、ストレッチなどの運動をする、睡眠をとる、外から帰ったらうがいや手洗いを習慣化する、マスクの着用をする、人込みを避ける、予防接種を受ける、換気をするなどいろいろ方法があります。日常的には、やらねばならないことがあり、なかなか休みをとりにくいことでしょう。しかし、咳や発熱している時は、思い切って体調優先にし、無理して登校せず、休むなど、ちょっとした勇気を持ちたいものです。



## 心の健康 (7)

これまでストレス解消のヒントを stress の頭文字で示してきました。今回は6文字目の S=Speaking:おしゃべり・話すことです。誰でも経験があって知っていることですが、おしゃべりしたり、話を人に聞いてもらったりしたら、気持ちが晴れやかになります。

人間には言葉を話すという恵みが与えられています。自分の思いや胸にたまったことを話す。自分の考えを語る。言葉で自己表現することは、ストレス解消に繋がります。ただ、しっかり聞いてくれる人が居てこそです。

12月は今年最後のテストがあります。生徒も先生も期末テストに心身のエネルギーをととても使います。保護者もそうでしょう。が、テストが終わると急に場面が変わってクリスマスや今年の終わりの行事が待ってい

ます。状況は変化しますが、日頃から子どもの話すことに本気で耳を傾け、親と子が互いに向かい合って話をし、聞くという習慣を持ちたいものです。

(カウンセラー)



## 生徒の活躍

《中学》

◇中学ソフトテニス部

\*平成31年度広島市中学校

ソフトテニス新人大会(女子団体戦)

団体戦メンバー

T・M(2-1)

A・H(2-1) ペア

K・S(2-4)

F・R(2-4) ペア

Y・M(2-4)

M・W(2-5) ペア

T・S(2-4)

U・I(2-5) ペア

⇒団体戦ベスト8入賞

◇中学新体操部

\*平成31年度広島市中学校新体操新人大会

**団体** 1位

◇中学バレー部

\*広島市中学校新人バレーボール大会中区大会

3位受賞

《高校》

◇高校卓球部

\*第65回広島県高等学校新人卓球大会

(学校対抗の部)

女子団体戦 B級 5位入賞

◇高校新体操部

\*令和元年度広島県高等学校新体操新人大会

- 団体** 1位  
**個人** 一部 M・H (2-E) 7位  
U・S (2-B) 8位  
二部 S・Y (1-D) 1位  
F・H (1-A) 4位

◇高校放送部

\*第30回広島県高等学校放送文化コンクール  
中部地区大会

[アナウンス部門]

O・S (1-C)

[朗読部門]

N・T (2-B)

N・S (1-E) 優秀賞

⇒以上3名、県大会出場決定

\*第30回広島県高等学校放送文化コンクール  
県大会

[朗読部門]

N・T (2-B) 優良賞

⇒中国大会出場決定

◇個人の活躍

\*プラン・インターナショナル

夏休み読書感想文コンクール2019  
(高校の部)

M・K (2-E) 特別賞

\*2019年度(第17回)広島県高校生  
英語スピーチコンテスト

Y・R (2-D) 準大賞

From Hiroshima to Overseas (広島から海外へ)

\*広島県科学オリンピック

F・H (2-A)

S・A (2-B)

K・A (2-C)

S・Y (2-C)

S・A (2-C)

U・A (2-E)

⇒筆記競技および実技競技 総合6位



\*第63回広島県科学賞 高等学校の部

U・A (2-E)

「柑橘類摂取時の発汗に関する研究」

特選 読売新聞社賞

《中高》

◇中高吹奏楽部

\*第57回中国中学校・高等学校

吹奏楽まつり in さくらびあ

最優秀賞：広島県吹奏楽連盟賞受賞



**教職員の動向**

中学教頭 渡部先生のご義父様が 11月2日にご逝去されました。ご家族の上に神様の慰めがございますようお祈りいたします。



**中学讚美歌コンクール開催のお知らせ**

12月18日(水)9時45分~12時20分、ゲンスホールで、中学讚美歌コンクールが開催されます。この時期、生徒たちの一生懸命練習する歌声が学校中に流れ、クリスマスを迎える女学院の風物詩となっています。

なお、ホールの収容能力に限界があるため、参観は中3保護者の方に限らせていただいております。またお子様連れ、写真・ビデオ撮影、発表中の出入りはご遠慮いただいております。生徒たちのための大切な行事であることをご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

(宗教教育委員会)

## クリスマス献金のお願い

キリスト教の教会では、礼拝の中で神様への感謝のしるしとして献金を捧げます。女学院でも、2学期末のクリスマス礼拝で「クリスマス献金」を捧げ、この1年間の恵みを感謝し、その恵みを“隣人”と分かち合うために、NGOや福祉施設などにお送りします。2学期末に詳細を記したプリントを配布し、礼拝委員(中学)、宗教委員(高校)が各HRで呼びかけます。趣旨をご理解の上、ご協力いただければ幸いです。

(宗教教育委員会)

## 女学院クリスマスのご案内

12月20日(金)18時~19時30分(17時30分開場)、ゲーンズホールにおいて女学院クリスマス(一般公開クリスマス礼拝)を行います。今年は「音楽」を中心としたプログラムで、クリスマスメッセージ(藤井瑠璃子先生)、高校音楽部・吹奏楽部・オーケストラ同好会・音楽選択生有志(合唱)、中学YWCA部(ハンドベル)、高校YWCA部・高校宗教委員(司会・聖書朗読)などの生徒の皆さんが協力して下さいます。

在校生、ご家族、卒業生はもとより、どなたでも自由にご参加いただける礼拝です。ご家族、お知り合い、お誘い合わせの上、どうぞご来場ください。共にクリスマスをお祝いしましょう。なお、入場は無料ですが、会場で席上献金(NGO・社会福祉団体などへの寄付)のご協力をお願いしています。

終了が下校時間を過ぎることをご了解の上、中学生が参加する場合は、必ず保護者同伴か、お迎えをお願いします。

(宗教教育委員会)



## 広島女学院・第35回「メサイア演奏会」のご案内

バロック音楽の大作曲家 G.F. ヘンデルは音楽家として厳しい苦境にあった時、台本作家ジェネズから救い主(=メサイア)イエスを描いた台本を提供されます。その内容に触発され、彼は驚くべきエネルギーを注いで名曲・オラトリオ「メサイア」を完成させ、以来名曲として愛される作品となりました。広島女学院ではこの演奏会を長く引き継ぎ、今年も多く協力者と共に中高からは高校音楽部、オーケストラグループ、保護者・教職員有志が参加します。是非お嬢様の在学中にご一緒にお聴きください。

※チラシ・ポスターご入用の方は事務室にお申し出ください。

日時：12月22日(日)

17時開場、17時30分開演

場所：ゲーンズホール(中高校地)

出演：独唱：乗松恵美(卒業生)、佐々木有紀(卒業生)、頃安利秀、折河宏治、  
広島女学院メイア・オーケストラ、  
広島メサイア合唱団

指揮：星野晴夫(本校の前校長、  
現在音楽科非常勤講師)

入場料：無料(国内各施設等への献金があります。任意)

※小学生以下のお子様にはゲーンズ幼稚園による託児室が設置されます。

※駐車場はありませんので、お車での来場はご遠慮ください。

(メサイア実行委員)



## 今月の聖句

「そればかりでなく、苦難をも誇りとします。私たちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。(中略) ……実にキリストは、わたしたちがまだ弱かったころ、定められた時に、不信心な者のために死んで下さった。」

(ローマの信徒への手紙 5章3節・6節)

忍耐する力を得なければ、強くならなければ、希望は得られないのでしょうか。そうではないでしょう。絶望や悲しみ、なぜこんな目に遭うのかというやりきれなさ、自分を認められない自己否定の中にあっても、その姿のままに受け止めてくれて寄り添ってくれる存在があります。そして、願っていた通りの結果は与えられないかもしれないけれど、いつか、必ず、自分に最もふさわしいものが与えられていることに気づく時が訪れる、そういった希望が絶望の中にある時から約束されている、そう思います。

私たちはイエスの時代に生きるものではありません。しかし、イエスを十字架につけると叫んだ群衆の姿は実に私たちの姿です。それでも、そんな私たちのためにイエスは十字架にかかって下さり、甦ったイエスは常にわたしたちの横に寄り添ってくれているのです。

今年のキリスト教強調週間では、講師の立野泰博先生から、「嘆きの中にある人に寄り添うことで創り出す希望」というメッセージをいただきました。その前提としてとても大切なことは、私たち一人一人も、常に寄り添われており、大きな希望が約束されているということだと思います。イエス＝キリストの誕生によって希望の光が与えられたことを祝うクリスマスがまもなくです。よいクリスマスを迎えましょう。

(11月15日 中学ホール礼拝より 社会科 S.J)



## 12月行事予定

1	日	アドベント(～12/24)
2	月	
3	火	
4	水	期末テスト(高3) <b>1限8:55～</b> 期末テスト(高1)
5	木	(高2) <b>1限8:55～</b>
6	金	(中1・2・3) <b>1限8:55～ 15分休憩</b>
7	土	代休(11月2日(土))
8	日	
9	月	<b>1限8:55～ 15分休憩</b>
10	火	<b>1限8:55～ 15分休憩</b> 高3自宅学習日 女学院大学 キャンパスツアー
11	水	自宅学習日(中1～高2) 高3テスト返却 <b>1限8:55～</b>
12	木	テスト返却(中1～高2) <b>1限8:55～</b>
13	金	高3特別時間割 高3期末テスト素点確認
14	土	
15	日	高3駿台センター試験プレテスト
16	月	特別時間割 <b>1限8:55～</b> 期末テスト素点確認(中1～高2) (高) 健康教育
17	火	
18	水	高3自宅学習日 (中) 讃美歌コンクール
19	木	クリスマス礼拝リハーサル
20	金	終業の日 クリスマス礼拝 女学院クリスマス 面接・補習
21	土	
22	日	メサイア
23	月	
24	火	
25	水	クリスマス
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	特別休暇
30	月	
31	火	

